

# 2024年度生産性向上支援訓練コース内容

主催：滋賀職業能力開発促進センター

コース番号	013	訓練分野	B.組織マネジメント－組織力強化
コース名	業務プロセスの見える化によるムダの発見と改善		
正式な コース番号・ コース名	24-25-12-097-013 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2024/6/11 (火) 9:30～16:30 (昼休憩 12:30～13:30)		
会場	ポリテクセンター滋賀 (大津市)		
対象者	初任層・中堅層・管理者層 ●業務のムダを発見し、効率化を図りたい方 ●業務を標準化し、内部統制を強化したい方 ●新たな業務の手順や必要なコストの算出方法を知りたい方		
習得する スキル等	●業務のムダを発見し、業務改善や業務のシステム化に活用する知識		
ポイント	・事例や経験を適時挟み込むことにより、受講生の理解度を高めます。 ・座学とグループ演習を時間的に50:50としており、体感的に内容を理解できます。 ・業務フロー分析は架空のシチュエーションであるが、実践的に体験することができます。		
内容	1 業務とデータの見える化とは (1) 労働生産性(付加価値生産性)向上の必要性 ・労働生産性(付加価値生産性)とは ・日本の労働生産性の現状 ・業務とデータの見える化の必要性と業務分析 ・業務改善のいろいろな方向性 (2) 課題解決の2つのアプローチ法 ・課題解決の2つのアプローチ法 ・課題解決のシナリオ(間接業務系) 2 業務とデータの見える化技法 (1) 業務の見える化事例 ・事例1 繊維業界での事例 ・事例2 製紙業界での事例 ・事例3 海外工場での事例 (2) 業務フロー分析(火の見櫓)の活用 ・IT化までのステップ ・分析的アプローチ法の1例としての業務フロー分析 ・簡単な事例での分析手法の流れ 3 業務プロセスの見える化と継続的改善 (1) 業務フロー分析(火の見櫓)の実施方法【グループワーク】		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析の流れと準備項目□</li> <li>・事例による進行方法説明</li> <li>・写真による実例で説明</li> <li style="padding-left: 20px;">グループワーク：業務分析</li> </ul> <p>(2) 課題解決の計画と実行【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善策アイデアの立案（ブレインライティング）</li> <li>・アイデアの集約（親和図法）□</li> <li>・優先順位づけ（マトリクス図法）</li> <li>・計画書の作成（参考書式の紹介）</li> <li style="padding-left: 20px;">グループワーク：CS向上アイデア出し</li> </ul>		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定員	15名	受講料	3,300円（税込）
使用ソフトウェア	実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。	
備考	－		